



会長メッセージ

会長 栗原 靖之（横浜国立大学）

長く続くコロナ禍の中、各施設におかれましては共用施設の維持管理に大変なご苦勞をされていると思います。機器・分析センターは大学等機関の教育研究を基盤で支えています。ぜひ、教育研究環境の維持をお願いいたします。

今年度の協議会総会も残念ながら昨年同様オンライン開催にいたしました。皆さんと直接お会いして議論をしたかったのですが、こんな社会情勢ではそれが叶いませんでした。今回の総会は横浜国立大学が開催校として、谷村誠専任教員に総会実行委員会委員長をお願いし着々と準備を進めてくださっています。何卒ご参加くださるようお願いいたします。

今回の総会シンポジウムのテーマは「**共用施設としての機器・分析センターの立ち位置と役割～理想と現実～**」です。このテーマを選んだ背景について少し説明させていただきます。

私が協議会会長に就任して、協議会は

1. 共用施設（機器・分析センター）が、大学の教育研究と地域産業を支える基盤的設備と能力を持つことの実現
2. 技術職員が、大学の基礎研究を支えているというプライドを持って仕事ができることの実現

の二つを到達目標としています。

技術職員問題は、昨年度実施したアンケートやシンポジウムでの議論を受けて具体的なアクションを検討しています。そこで、今年度の総会シンポジウムでは1に焦点を当てます。

機器・分析センターが大学の教育研究と地域産業を支える基盤的設備と能力を持つことを実現するには**機器・分析センターを取り巻くヒト・モノ・カネ・システムのバランスが最適化**されていなければなりません。

どんなに良いヒトを揃えてもモノ・カネ・システムのどれかが不足してはせっかくの人材が有効活用されません。また、学内組織体制のようなシステム設計にばかり目を向けても、それ

を支える現場の意識がシステム設計のフィロソフィーに迫いつかなければ絵に描いた餅です。つまり、共用組織としての学内機器分析センターが潜在的に持つ能力を適正に運用するには、ヒト・モノ・カネ・システムの個々が最善でなくても、全体的に最適化される必要があります。組織運営にはこの4つを総合的にみて、運用をどう最適化するかが重要なポイントです。

この最適化をするには各大学等機関のポジションや社会や学生から望まれることを実現するうえで機器・分析センターの理想像は何か、それに対して現実はどうなのかを表出させなければ議論はできません。今回は4つの観点を個別に議論するのではなく、センター運営にかかわる様々な立場の方を切り口にするとセンター及び4つの観点の理想像と現実がどう見えるかを明らかにしたいと考えました。そこで発表をお願いした方には以下の点に沿ってお話したいと思っています。

- ・貴大学等機関が望まれている役割は何か
- ・その役割を実現するうえで機器分析センターの理想像と現実
- ・その役割を実現するうえで4つの観点の理想と現実
- ・講演者の方が考える理想と現実を埋める具体的方策

こういった講演内容では議論が発散して収束しないかもしれません。しかし、それでよいので敢えて挑戦しようと思います。各大学等機関の置かれている状況が違うので全体最適解はなく局所最適解を求めなければなりません。議論が発散したとしても、シンポジウムの中で出た問題提起やフレーズ、単語の一つでも皆さんの心に響いて、各機関内で日々の業務をする上での相互理解や改善につながってほしいと願っています。

オンライン開催にはなりますが、活発なご議論をお願いいたします。

事業検討委員会

副会長（協議会運営担当）
多田 宏子（岡山大学）

委員長 森本 稔（鳥取大学）

2021年度4月～8月に幹事会を4回、いずれもZoom会議にて開催しました。主な議事は以下の通りです。

2021年度第1回幹事会 5月26日（月）

- ・文部科学省学術機関課と研究開発基盤課への栗原会長等による訪問内容について
- ・会員登録様式と登録期限（6月末）、会費納入期限（9月末）、会費振込用の銀行口座開設について
- ・本年度総会について、実行委員長（横浜国大・谷村誠 先生）、開催日（10月15日（金））、開催形式（WEBまたはハイブリッド形式、最終判断は7月上旬）の承認、総会テーマの検討を開始

2021年度第2回幹事会 7月1日（木）

- ・6月末時点での入会状況について
- ・会員サービスとして「機器のリモート操作に関する企業ウェビナー」共催の提案について
- ・協議会の発展のため、より広い分野の方（生命科学など。主に技術系職員を想定）に参加を促す手法について
- ・本年度総会について、議事とシンポジウムをWEB形式で同日開催することを承認

2021年度第3回幹事会 7月21日（水）

- ・「機器のリモート操作に関する企業ウェビナー」の具体的な開催要領について
- ・協賛金徴収のための事務的課題について
- ・本年度総会のテーマについて、「センターの立ち位置・枠組み・役割」とすることなどを承認
- ・総会実行委員の承認、幹事会と実行委員会の作業について

2021年度第4回幹事会 8月31日（火）

- ・総会シンポジウム「共用施設としての機器・分析センターの立ち位置と役割～理想と現実～」趣旨書の承認
- ・事業検討委員会の提案に基づき、今年度のアンケート内容について
- ・技術人材委員会の提案に基づき、技術職員の会議のテーマについて
- ・総会実行委員にも参加いただいた拡大幹事会を開催し、総会プログラム案・開催要領等について

コロナ禍の終息が見通せない状況が続き、マスク着用やオンライン会議が当たり前のこととなってきたように思います。一方、研究環境はというと、対面での議論や手取り足取りの指導が制限され、思うように進まないところもあるようです。その様な中、「遠隔測定・遠隔支援」が注目されています。機器・分析センターのスタッフにとって、利用者への機器のオペレーション指導やトラブルに対し、わざわざ現場に行かなくてもよい（可能性がある）ことは仕事の効率化につながります。もともとはコロナ禍でも研究を継続可するために始まったものですが、コロナ禍が終息した後でも新しいスタイル機器共用・技術支援として当たり前に利用されるのではと思っています。

さて、事業検討委員会は8月末までに3回会議を行い、今後の事業について及び協議会シンポジウムに向けたアンケート調査について議論してきました。以下にその概略を示します。

今後の事業について

- ・学内でのセンターの立ち位置が低く、センター主導で動けない大学のセンターをフォローする事業が必要。
- ・様々な共用事業に申請できない大学のセンターの課題を抽出し、センター協議会がバックアップ。
- ・センターの教員の活躍を阻む要因を抽出し、その解決に向けた取組が必要。

アンケート調査について

- ・学内におけるセンターの立ち位置について：試行部・財務・人事など学内他組織との連携、関わりがどのようになっているのか。
- ・協議会に参加している人が学内のどのような位置にいて、そこでどのような業務をしているかを調査し、業務を遂行する上での課題の抽出が必要。

令和3年度 第1回 事業検討委員会

5月12日（水）10:30～12:00 WEB会議

令和3年度 第2回 事業検討委員会

6月16日（水）～6月25日（金）メール意見招集

令和3年度 第3回 事業検討委員会

8月17日（火）10:00～11:30 WEB会議

会員の皆様からこのような事業をして欲しいなどのご要望がありましたら幹事会までお知らせください。

広報委員会

委員長 野口 恵一（東京農工大学）

令和3年6月3日（木）10:00～12:00に、WEB会議として第1回広報委員会を開催し、今年度の活動予定について検討を行いました。主な議題は以下の通りです。

- ・ニュースレターの発行予定と内容について
- ・協議会ウェブサイトのサーバー移行について
- ・総会資料やウェブサイトでの広告掲載について
- ・会員校以外への広報活動について

昨年度により、メーリングリストとウェブサイト通じた情報提供の強化に取り組んでおり、今年度は、以下のような情報を発信して参りました。本協議会の会員校に関連したシンポジウム、セミナー、講演会、講習会、検討会等のお知らせがありましたら、幹事会までご連絡ください。また、ニュースレターを通じて、地域連携や外部利用に関する特徴ある取り組みなど、皆様の役に立つ情報が提供できないか、検討しております。アイデアがありましたら、是非、ご連絡ください。

2021. 6. 1 令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の募集

2021. 7. 21 分析機器を簡単に「リモート化」する方法に関するウェビナー（2021年8月4日（水）13:00-14:00 開催）

2021. 8. 3 金沢大学研究基盤統括本部シンポジウム ～研究支援人材の未来を考える～（2021年9月9日（木）13:30-16:45 開催予定）

技術人材委員会

委員長 岡 征子（北海道大学）

全国的に行動制限がかかる中、ワークスタイルの変化に対応しながら日々過ごされていることと思います。どのような状況においても、安心・安全・信頼できる研究環境を維持すること

が私たち技術職員の仕事のひとつ。皆さま試行錯誤を繰り返しながらご対応されているのではないのでしょうか。特に様々な自動化遠隔化への対応においては、機器分析の知識だけでは用をなさず、情報ネットワークや情報セキュリティ、動画編集など、今まで以上に理解を深めていかなければならない事が多くありました。機器分析に携わる技術職員は装置相手に保守管理や分析広報も行っている方が多く、比較的“自動化遠隔化”に対して何をどうすると良いか判断できるケースが多いと思いますが、とりわけ大活躍している職員がおられたりするかもしれません。かく言う私の身近にも頼りになる職員がおり、先導して整えていただいた仕組みのおかげで、以前と変わらない研究支援体制を維持することが出来ています。

さて、技術人材委員会では、6月、8月の会議において今年度の活動を以下のように整理しました。

- ・昨年度収集したアンケート結果から次のアクションを考える
- ・アンケート結果から、技術職員の活躍促進に向けたやりがいや満足度を高めるためには「仕事に対する目標が明確である」「技術研鑽を積める環境にある」についての改善対応が喫緊の課題であり、各センターのビジョン・ミッションの共有やセンター業務における各技術職員の役割の明確化、そして、技術研鑽の推奨と環境整備が満足度向上と最大の成果創出環境への近道であることが示唆されたことから、これらに関するアンケート収集ならびに技術職員会議のテーマ設定を行う
- ・会員サービスの充実を検討 例えば、各大学の講習資料等の共有サイト作成や設備ネットに登録されていないような装置についての講習会をセンター協議会で企画するなど

今年度の技術職員会議は12月初旬に開催予定で準備を進めていきます。皆様、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

令和3年度 第1回 技術人材委員会

6月16日（水）13:30～15:00 WEB会議

令和3年度 第2回 技術人材委員会

8月23日（月）～8月30日（月）メール会議

お知らせ

2021年度総会について

7月上旬にWEBサイトとメーリングリストを通じてお知らせしましたように、2021年度機器・分析センター協議会総会とシンポジウムは、オンライン（Zoom）で開催いたします。

2021年度国立大学法人機器・分析センター協議会 総会・シンポジウム開催概要

日時：令和3年10月15日（金）13:00-16:00（予定）
開催形式：ZOOMによるオンライン開催
総会開催校：横浜国立大学
総会実行委員会委員長：谷村誠（横浜国大）
シンポジウムテーマ：共用施設としての機器・分析センターの立ち位置と役割～理想と現実～

開会の辞 総会

- ・報告事項（各小委員会からの活動報告）
- ・議事（会計報告、新規入会機関）

シンポジウム

- ・テーマ説明（会長）
- ・基調講演（文部科学省研究振興局
学術機関課）
- ・講演（4件の予定）
- ・機器センター・施設に関するアンケート
の結果報告
- ・ディスカッション

次年度総会のお知らせ

閉会の辞

2021年度機器・分析センター協議会
総会・シンポジウムの参加登録を開始
致しました。参加登録サイトよりお申
し込み下さい



<https://forms.office.com/r/p5FNhbM9R9>

参加資格：国立大学法人 機器・分析センター協
議会会員校に所属する教職員（常勤／非常
勤を問わず参加を歓迎します）。また、
「機器・分析センター」以外の関係組織の
皆様の参加も歓迎します。

参加登録締め切り： **2021年10月1日（金）**

【申込に関する注意点】

- ・参加者個人で入力してください。
- ・参加資格を確認するため、会員校のドメイン
によるメールアドレスを登録してください。
- ・フリーメールアドレス（@yahoo.com、

@gmail.comなど）での登録はご遠慮くださ
い。

- ・登録いただいたメールアドレスにzoomミー
ティングのIDおよびPWを送付いたします。
- ・記載いただいた情報は本総会のためだけに使
用し、第三者に提供することはございませ
ん。
- ・総会当日の議事において議決に参加される方
（**議決権者**）を**各機関ごとに1名のみ**、
ご登録ください。

（注）議決はブレイクアウトルーム機能を用
いて行いますが、その登録に時間を要す
るため、**議決権者は12:30までにzoom入室
をお願い致します。**

会員登録と会費納入について

6月上旬より開始した会員の継続確認にご協力
頂き、ありがとうございました。8月31日時点で
50機関のセンター/施設に会員としてご登録頂
きました。今後ともよろしくお願いいたします。
新規入会希望に関しては、今年度総会の審議事
項となります。なお、今年度の会費の納入につ
いては、**9月30日を納付期限**としています。ご協
力のほど、よろしくお願いいたします。

協議会シンポジウムに関するアンケート

近日中に機器・分析センター協議会シンポジ
ウムに関するアンケートをメーリングリストを
通じてお願いする予定です。お忙しいところ誠に
恐縮ですが、回答にご協力いただけますよう
お願い申し上げます。

国立大学法人 機器・分析センター協議会 ニュースレター No.4

発行日：2021年9月3日

編 集：国立大学法人 機器・分析センター協議会
広報委員会

発 行：国立大学法人 機器・分析センター協議会
連絡先：kikikyogikai@gmail.com

Website: <https://sites.google.com/site/kikikyogikai/>
メーリングリスト：kiki_ml@googlegroups.com